



●組立てされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●部材切断の際は、切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。



●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。(0.5mm以下)

・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

・アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレがでないように、組立補助ブロックを張付けて組立てしてください。

組立て上のお願ひ

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 新設サッシ枠・障子の組立ては、各新設サッシの「枠・障子組立て説明書」をご覧ください。
- アタッチ枠 サーモス用・アタッチ枠 TW用の取付けは、「アタッチ枠 サーモス用・TW用 取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書および部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧ください。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

施工説明動画



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	フィンカットした部分に凹凸はないか	☐
2	コーキングシーラーは枠の周りにはみ出しているか	☐
3	ねじは適正トルクで止められているか	☐
4	アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレはないか	☐

■部品一覧

アタッチ枠組立て



バインドタッピンねじ
φ4×30

アタッチ枠 サーモス用連結ねじ

※有償品になります



装飾枠
平バーリングドリルねじ
φ4×15

アタッチ枠 TW用連結ねじ

※専用サッシの場合は、サッシに同梱されています
※専用サッシ以外は、有償品になります



装飾枠
平バーリングドリルねじ
φ4×15

組立補助ブロック



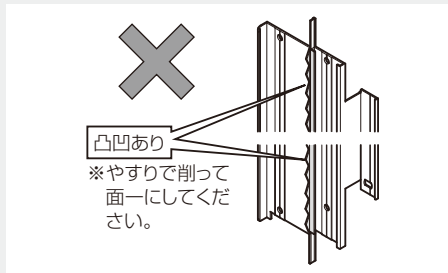
1-1 釘打ちフィンのカット

・専用設定の新設サッシ枠の場合は、フィンカットされていますので、1-2へ進んでください。

▲ 注意

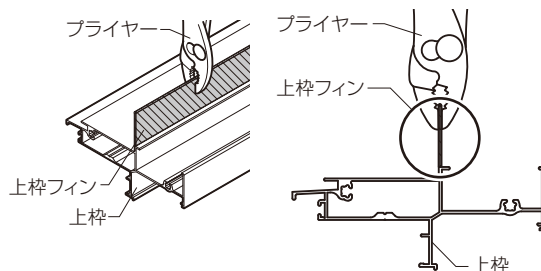


- フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。(0.5mm以下)
アタッチ枠の圧着が弱くなり、漏水の原因となります。

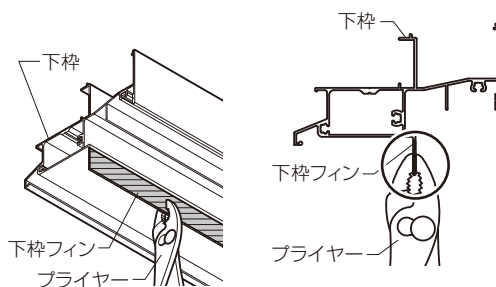


- 上・下・縦枠の釘打ちフィン根元の溝にPカッターで2～3回スジをつけます。プライヤーなどでフィンを折り曲げながら取り除いてください。

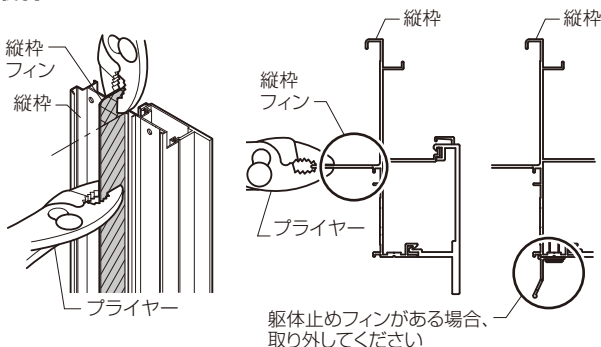
●上枠フィン



●下枠フィン



●縦枠フィン



1-2 新設枠の組立て

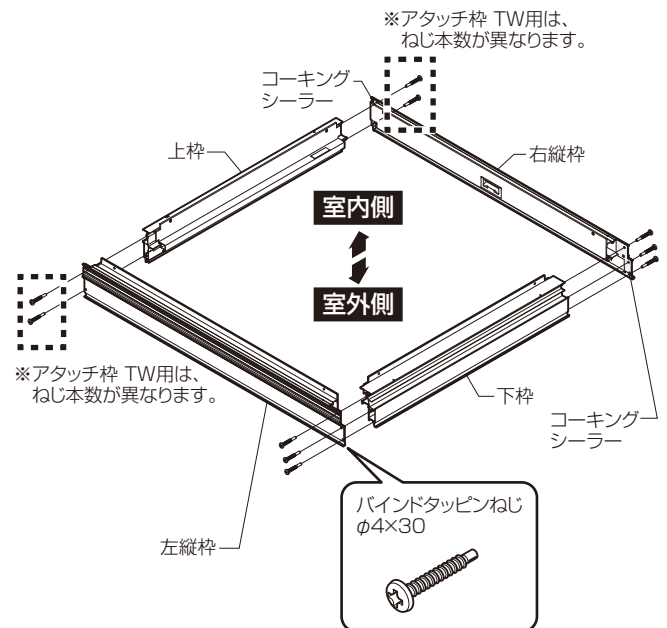
▲ 注意



- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

- 室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
- ※室内側アングル部の開きや段差(組ズレ)が出ないように、室内側からねじ止めしてください。

・図は代表としてアタッチ枠 サーモス用縦すべり出し窓カムラッチタイプです。新設サッシ枠の組立ては、各新設サッシの「枠組立て説明書」をご覧ください。



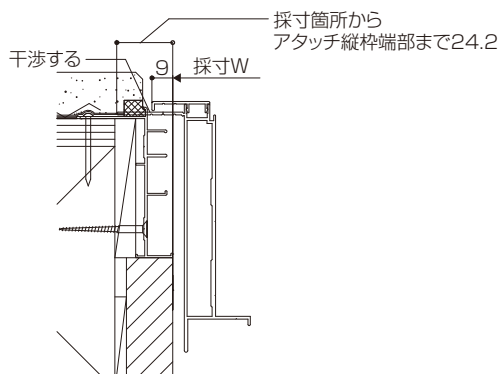
1-3 アタッチ枠の切断

▲ 注 意

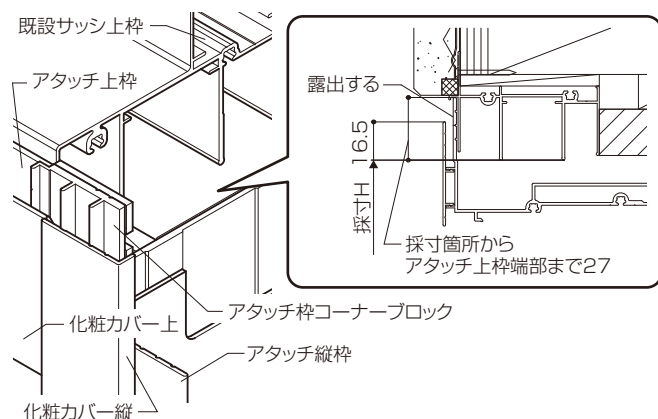


●切断した面のバリ取りを行ってください。切断面でケガをするおそれがあります。

●外壁などに干渉する場合は、納まりに応じて切断してください。

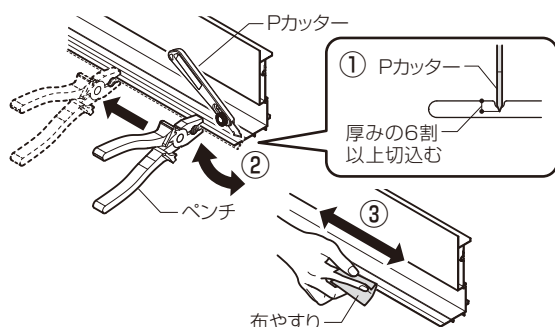


●化粧カバー小を選択している場合、納まりによってアタッチ枠が化粧カバーから露出する事があります、必要に応じてアタッチ枠とアタッチ枠コーナブロックを切断してください。



●切断手順

- ① 枠の裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ型材の厚みの6割以上切込んでください。
- ② ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③ 切断した面を、布やすり(推奨粒度400以上)で研磨し、バリ取りを行ってください。



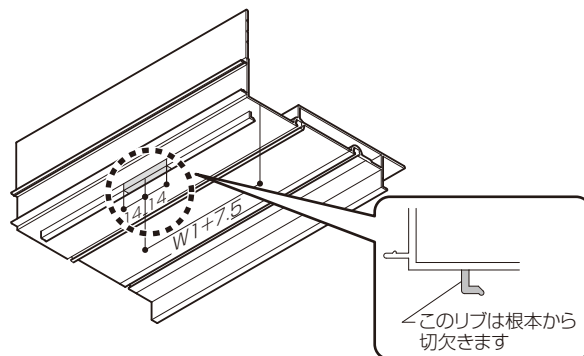
1-4 アタッチ上・下枠の加工(連窓の場合)

新設サッシが連窓の場合、アタッチ上・下枠に切欠き加工をしてください。

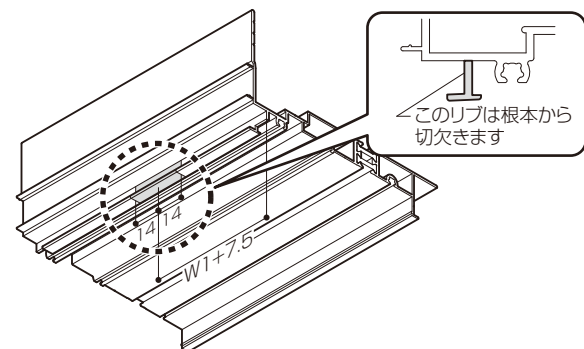
※連窓が複数の場合は、それぞれの連窓方立部に対して切欠きを行ってください。

※アタッチ枠 TW用の縦すべり出し窓(グレモン)のTF・TFTの様に一体連窓の場合は、加工不要です。

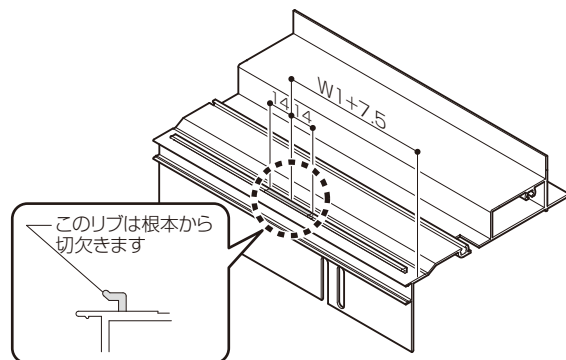
●アタッチ上枠(アタッチ枠 サーモス用)



●アタッチ上枠(アタッチ枠 TW用)

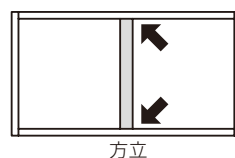


●アタッチ下枠



※アタッチ枠 TW用の縦すべり出し窓(グレモン)のTF・TFTの様な、一体連窓の場合は、加工不要です。

一体連窓(上下枠が一本で通っている)



2 アタッチ枠の組立て

▲ 注意



●漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・アタッチ枠と新設サッシ枠の組みズレが出ないように、組立補助ブロックを張付けて組立てしてください。
- ・縦枠両端に貼付けてあるコーキングが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$) のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

①組立補助ブロックを新設サッシ枠の室外側に張付けてください。

②アタッチ下枠を新設下枠にかん合

③アタッチ縦枠を新設縦枠にかん合

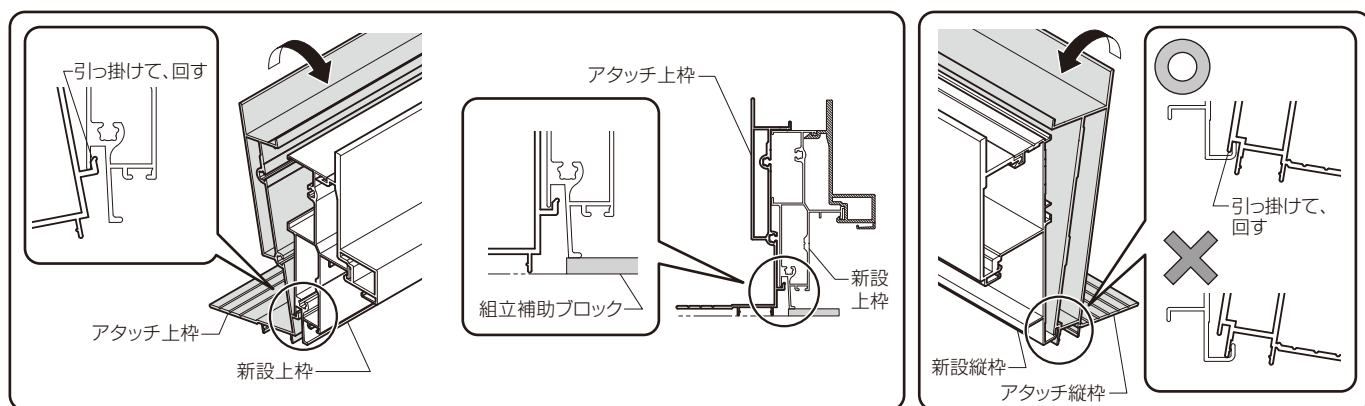
④アタッチ下枠とアタッチ縦枠を組立てねじで固定

⑤アタッチ上枠を新設上枠にかん合

⑥アタッチ上枠とアタッチ縦枠を組立てねじで固定

⑦アタッチ縦枠を新設縦枠にかん合

⑧アタッチ縦枠とアタッチ上・下枠を組立てねじで固定

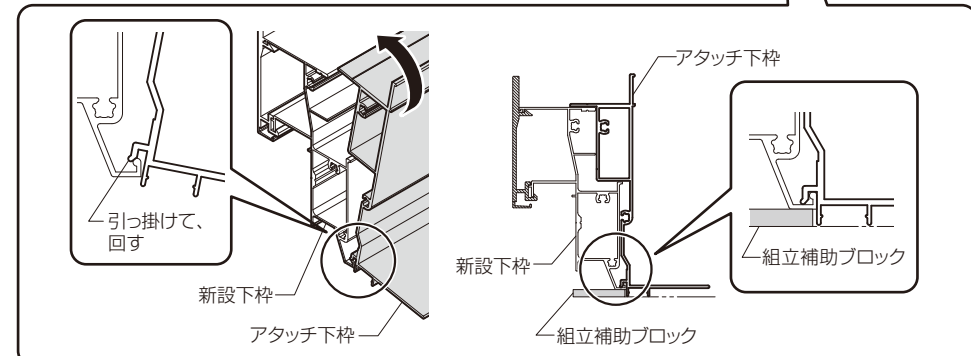
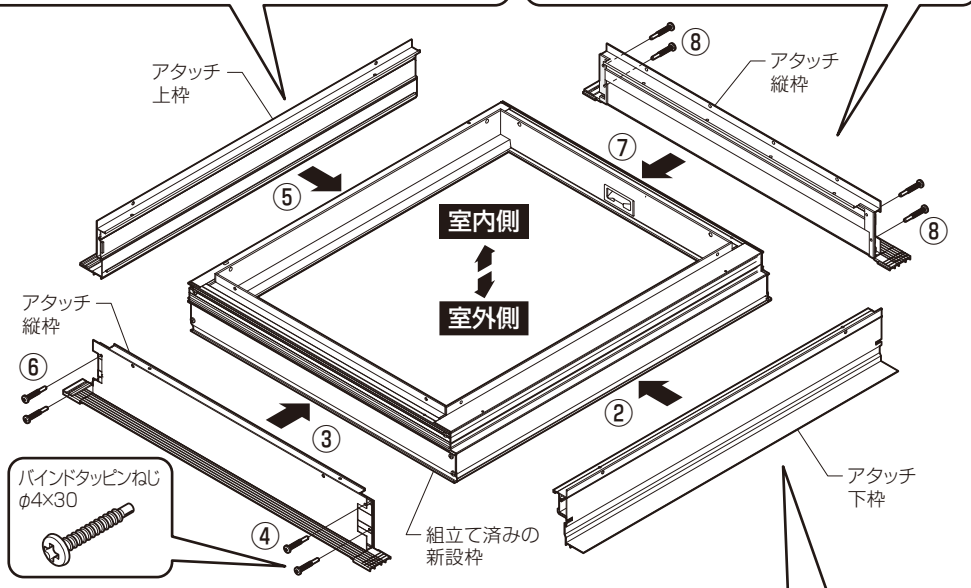
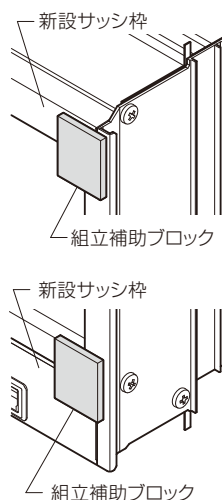


①

4ヶ入りの場合はコーナー部四隅に張付け、8ヶ入りの場合はコーナー部四隅+部材中間部に張付け

※合体後にはがすので、はがし易いようにサッシ枠には全面張りしないでください。

※新設サッシが上げ下げ窓の場合は、枠の方がアタッチ枠より飛び出しているの、張付け不要です。

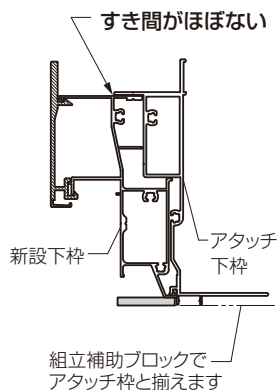
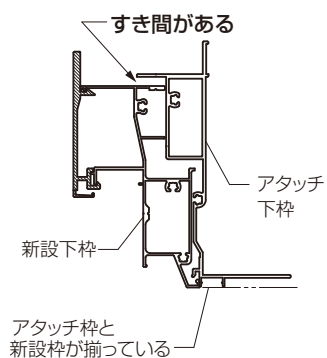


■組立て補助ブロックの役割

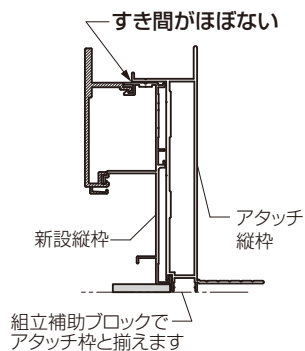
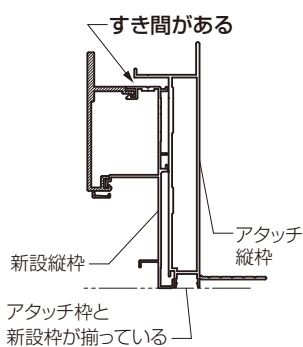
組立て補助ブロックは、新設枠とアタッチ枠との組立て時の組みズレ、合体時の組みズレを抑えるためにあります。



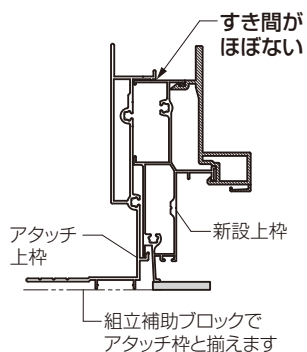
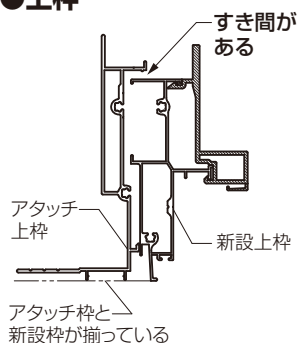
●下枠



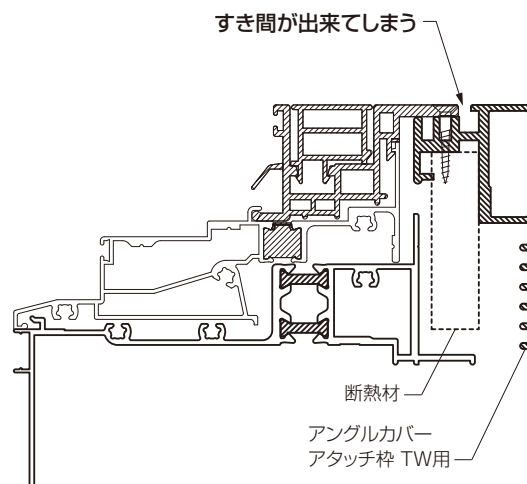
●縦枠



●上枠



組みズレがあるまま施工すると、アングルカバーと新設サッシ枠とのすき間が発生したりし、手戻りが発生してしまいます。



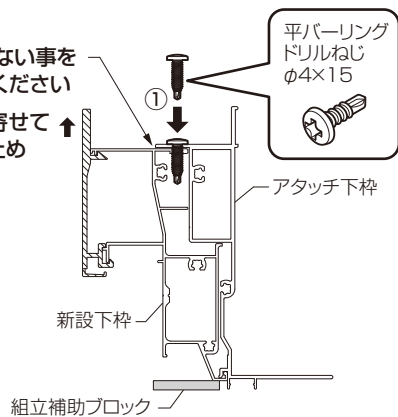
③新設枠とアタッチ枠との合体

新設枠をアタッチ枠にねじ止めしてください。

●下枠

すき間がない事を
確認してください

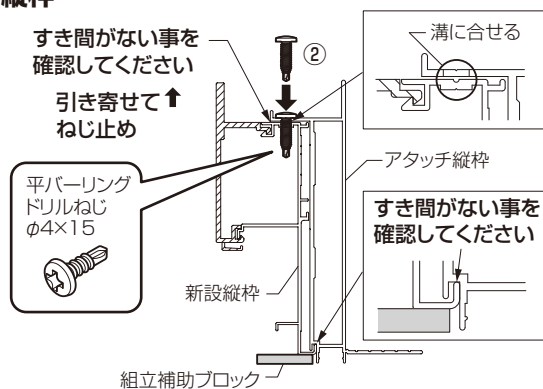
引き寄せて
ねじ止め



●縦枠

すき間がない事を
確認してください

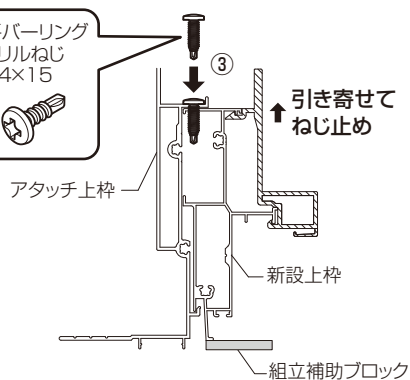
引き寄せて
ねじ止め



●上枠

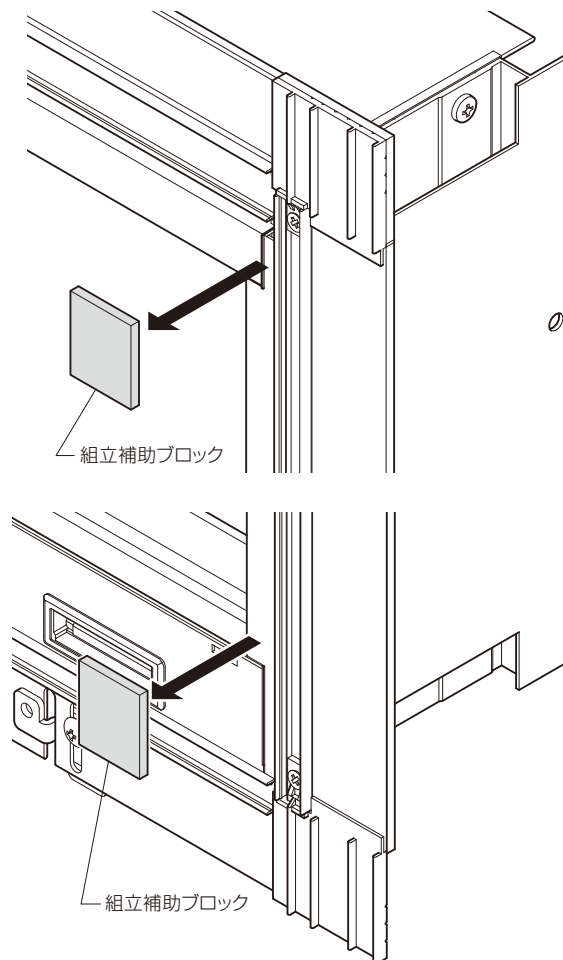
平バーリング
ドリルねじ
φ4×15

引き寄せて
ねじ止め



④組立補助ブロックの取外し

新設サッシ枠に張付けた組立補助ブロックをはがしてください。



MEMO

MEMO
